

令和6年度 インターンシップ実習生の感想など

(実習記録表等から要約して紹介しています)

【実習参加にあたって】

- ・実習を経て成し遂げるという体験を自信に繋げることで、自身の進路への意思を明確にし、今後の就職活動の活力にしていきたい。
- ・実習を通じて、地域の課題やニーズを理解し、地域社会の発展に貢献する一端を担うことを経験したい。
- ・市民が健康について学ぶ健康都市大学事業の取り組みや効果、更なる可能性について興味がある。保健師での業務はもちろん、地域全体を視野に入れた取り組みも経験してみたい。
- ・大学1年生で参加するのは早いかと思ったが、今後の大学での学びの目的を早めに明確にしたいと思い参加を希望した。

【実習後の感想】

- ・この5日間はたくさんのことを学び、同時に多くの課題も見つかり、これまでの経験を凌駕したといえる程、とても有意義な時間だった。
- ・正直、「市役所の職員」と聞くと、カッコリとしたスーツを着て、黙々と机に向かって仕事をしている様子を想像していたが、今回のインターンを通して、ひとくくりに市役所職員といっても、その仕事や働き方にはとても幅があることを知ることができた。
- ・自分の進路を選ぶ際には、「何をしたいか」だけではなく、「誰のために」という視点を持って考えていきたいと思った。
- ・新しい業務を遂行する中で、すべてを臨機応変にできなかったことは悔しかったが、これを改善するための改善策を見つけることができたのは良かった。5日間のインターンシップを経験し、公務員への志望が一段と高くなった。
- ・市役所職員が市民のために日々努力している姿勢や業務の裏側にある細やかな配慮に深く感銘を受けた。今回の経験は今後の学びや成長に大きく役立つものと感じた。
- ・大和市の先生方が積極的に教育について学び、考えを深める姿や、それを支えるために教育研究所の皆さまが尽力されている姿をみて感動した。私も就職しても学び続ける姿勢を大切にしたいと思った。